

モング・タン・イ氏陳述書

モング・タン・イ (MG. TUN YI) へ制規ノ誓約ノ上申
述べマス。

私ハ眞實ヲ一總テノ眞實ヲ而シテ唯ダ眞實ダケヲ
是ヨリ申述べマスコトヲ嚴肅且誠實ニ直言致シマス。

私ハ一九四五年 (昭和二十年) 六月第三週ニ「キ
ヤイクト」 (KYAIKTO) ノ憲兵隊本部デアル「エフ。
エス・ジョセフ」 (F. S. JOSEPH) 氏ノ家 (キヤイク
ト・ガンガウ街 (GANGAW Qr., KYAIKTO)) テ捕へ
ラレ犯人トシテ收容セラレマシタ。其處テ私ハ緬甸
軍ノ「ゲリラ」戦ニ就イテ「キヤイクト」憲兵隊ノ
ノ鈴木軍曹 (年齢四十才位、身ノ丈約五フイット六イ
ンチ、身体ハ大層肥満シテ居タ様デシタ) ニ取調べ
ラレマシタ。私ガ存ジマセント申シマシタラ、鈴木
軍曹ハ堅イ竹ノ棒 (長さ約四フイット五インチ、直径
約三インチ) テ幾度モ私ヲ打ツテ水ノ充滿シテ居ル
細長イ壕ニ突落シマシタノデ窒息シテ仕舞ヒマシタ。
私ハ鈴木軍曹ニヨツテ、コノ様テ方法ヲ時々拷問ニ
遭ヒマシタ。三日後、件ノ憲兵隊ハ、キヤイクビ

(KYAIKPH) (M 五五九六) トフエトカレイク (PH
HTKALEIK) (M 五四九七) ノ間ニ在ル、タウギイア
ン (TAWGYAN) (G 五五九七) ト謂フ庭園へ移轉致
シマシタ。私モ一緒ニ連レテ行カレマシタ。

Doc 5355

Doc 5355

前ニ述ベタ庭園ニハ私ノ外他ノ八名ノ犯人ガ地下ノ
獄舎ニ收容セラレテ居リマシタ。(長さ約一五フイ
ト、幅約七フイトデ約二フイト平方ノ小サイ出入口
ガ附イテ居リマシタ)コノ獄舎ノ中デサヘモ我々ハ
縄デ兩手、兩膝ヲ縛ラレ目隠シラセラレテ居リマシ
タ。

犯人ヘ取調ベノタメ毎日獄舎カラ引張り出サレマシ
タ。私ノ部屋カラハ毎日朋輩ノ犯人達ノ苦悶ノ呻キ
聲ガ聞コエマシタ。犯人ガ連れ戻サレタ時ヘ何時デ
モ決ツテ彼ヘ苦痛ト飢餓トデ氣ヲ失ツテ居リマシタ。
多分一九四五年(昭和二十年)六月二十五日ダツタ
ト思ヒマスガ私ト他ノ三名ノ犯人(翻譯者註、コノ
説明ヘ二名ノ名ノミヲ掲グ。)(サルタン・ファザ
ー・アリ氏(SULTAN FAZAR ALI)ト、ボ・イ氏(BO
HI)ハ獄舎カラ連れ出サレテ牛車ニ乗セラレ四名
ノ憲兵隊ノ兵士(名前ハ判ラナイ)ニヨツテ約一哩
程離レタ場所ヘ連レテ行カレマシタ(驛デ)牛車ガ
暫クノ間停リマシタノデ私ハ目隠シヲ脱シテ見マシ
タラ件ノ兵士達ガ私達ノ墓穴ヲ掘ツテ居リマシタ。
私ハ直機私ノ縛ヲ解キニカカリマシタ。ソシテ遂ニ
危機一髪デ逃ゲマシタ。